

## 《共通規定》

### 第1条 大会

Classic Racing Japanは、FIA国際モータースポーツ競技規則に準拠した日本自動車連盟(JAF)の国内競技規則、本2009年共通規定ならびに各オーガナイザー発行の競技会特別規則に従い、準国内格式競技として開催される。すべてのエントラントは、これらの諸規則に精通し、これを遵守するとともに各大会主催者及び競技役員への指示に従う義務を負うものとする。

### 第2条 組織

本シリーズはClassic Racing Japan(以下CRJとする)統括のもと、岡山国際サーキット(株式会社岡山国際サーキット/アイダクラブ《AC》)スポーツランド菅生(株式会社菅生/SUGOスポーツクラブ《SSC》)、により、社団法人 日本自動車連盟(JAF)の公認のもとそれぞれ組織、開催される。大会組織委員会、競技会審査委員会、競技長及びその他の競技役員は各大会の特別規則書にて公示される。

### 第3条 競技規則の変更

本競技規則は、年度途中においても見直しを行う場合がある。その内容は、CRJ発行のブルテンで発表される。

### 第4条 開催日程/開催場所/オーガナイザー

- 第1戦 開催日:2009年7月5日(日)  
開催場所:岡山国際サーキット(全長:3.703km/右回り)  
岡山県美作市滝口1210  
オーガナイザー:株式会社岡山国際サーキット/アイダクラブ(AC)
- 第2戦 開催日:2009年11月15日(日)  
開催場所:スポーツランド菅生(サーキット全長:3.704km/右回り)  
宮城県柴田郡村田町菅生6-1  
オーガナイザー:株式会社菅生/SUGOスポーツクラブ(SSC)

### 第5条 レース距離/完走周回数/決勝周回数

- 1) レース距離:各クラス25分間の決勝レース。
- 2) 完走周回数:チェッカーフラッグを本コース上で受けた、同一クラス1位の車両が走行した距離の70%以上とする。
- 3) 決勝出走台数:各オーガナイザー発行の大会特別規則書にて示される。

### 第6条 ドライバーの参加資格

ドライバーは、2009年に有効なJAF国内競技運転者許可証A以上の所持者であること。

### 第7条 参加車両

- 1919年～1981年までに製造された車両。
- オリジナルの競技車両、あるいはピリオド(年式)当時の国際規則に合致、国際競技歴のあるモデルと全く同一の仕様で作成された車両。(FIA国際モータースポーツ競技規則付則K項に準ずる)
  - HTP(ヒストリックテクニカルバスポート)、HRCP(ヒストリックレギュラリティー車両バス)取得を推奨とし、HTP、HRCPを有しない参加者は、車両仕様フォームを提出すること。※参加者独自の車両解釈による参加は、認められない場合がある。

### 第8条 技術規則/クラス区分

1. テクニカルレギュレーションは、FIA国際モータースポーツ競技規則付則K項(2009 APENDIX"K")「国際ヒストリック行事における競技車両の技術規則」に合致し、FIAヒストリックテクニカルバスポート(HTP)を取得した車両である。本規則の変更・解釈については、CRJブルテンにて公示され、CRJによって認められない参加者独自の解釈は、認められない。万一疑義が生じた場合は、CRJ及び各大会技術委員長の解釈を持って最終決定する。
2. 車両区分
  - 戦前 1923～1946年に製造された車両
  - 戦後 1947～1981年に製造された車両
3. クラス区分  
《LMC》 LMC 1/LMC 2  
HTPを取得または、取得申請中の車両。  
■ オリジナルの競技車両、あるいはピリオド(年式)当時の国際規則に合致、国際競技歴のあるモデルと全く同一の仕様で作成された車両。(国際モータースポーツ競技規則付則

K項に準じる。  
《OPEN》 OPEN 1 / OPEN 2  
LMCクラスに該当しない車両。

■参加者独自の車両解釈による参加は、認められない場合がある。

車両区分	参加区分	
	LMC	OPEN
戦前(1923～1946)	LMC 1	OPEN 1
戦後(1947～1981)	LMC 2	OPEN 2

4. CRJは車両の参加状況によって、クラス区分及びピリオド区分を変更する場合がある。また、車両の性能に基づき、クラスを変更する権利を有する。この場合は、各大会公式通知によって示す。

### 第9条 参加登録及び参加方法

- 1) 車両1台に対し2名までの登録が出来る。  
参加料:1大会 1名登録料 ¥84,000(税込)  
2名登録料 ¥115,500(税込)  
※ 参加料に含まれるもの  
4名様分(参加者含む)クレデンシャルとランチチケット
- 2) 参加申込以降のドライバー変更は、BDドライバーの登録抹消のみに限られ、大会の参加受付時間までとする。尚、BDドライバーの参加料は返金されない。
- 3) ドライバーのダブルエントリー  
ドライバーは、同一区分及び同一クラスのダブルエントリーは認めない。
- 4) 参加者は、CRJおよびオーガナイザーは理由を明示することなく参加拒否、登録申請を却下する場合があることを承知しなければならない。
- 5) CRJによる書類審査は、CRJへの参加可否を検証するものであって、車両の真正性に関わる何ら保障、あるいは意見を提供するものではない。従って、CRJのいかなる書類も車両の真性を証明するものとしての使用は厳格に禁じられる。

### 第10条 参加申込期間及び申込先

- 申し込み先: LMCJ (Le Mans Classic Japan)事務局  
〒259-0157 神奈川県足柄上郡中井町境405 [コックス株式会社内]  
Tel : 0465-81-3341 / Fax : 0465-80-1201

### 第11条 レースナンバー/広告

- 1) 各車両のレースナンバー(ゼッケンNo.)は、参加者による希望ナンバーの先着申し込み順としナンバーの申請が重なった場合は、CRJが決定する。
- 2) CRJは、レースナンバー(ゼッケンNo.)ステッカーを各車両につき2枚、広告ステッカー、を供給する。ステッカーはCRJが指定する車両位置に貼付しなければならない。スペース不足等で不可能の場合を除き、カットせずに貼付すること。破損等による追加ステッカーが必要な場合は別途定める規定料金での販売となる。
- 3) 参加者は、3ヶ所に50cm×14cm以内の大きさの独自の広告を提示することが認められるが、オフィシャルスポンサーの広告と抵触しないことを条件とする。例外としてCRJから文書による事前の承認を得た時は、認められる場合がある。

### 第12条 参加受理/参加拒否

- 1) 参加受理  
参加申込者に対しては、締切後2週間以内に大会事務局より、参加受理、又は、参加拒否が通知される。
- 2) 参加拒否  
参加を拒否された申し込み者に対しては、事務手数料1,000円を差引き、参加料を返却するものとする。

### 第13条 参加資格の取り消し

- 以下のいずれかの項目に該当した場合は、参加を受理しない場合がある。
- 1) 参加申請書等の書類に虚偽の記載が認められた場合。
  - 2) 本共通規則およびその他の規則を遵守しなかった場合。
  - 3) CRJが規定するオフィシャルスポンサーと競合するメーカー、商品の広告を行った場合。
  - 4) スポーツマンシップから逸脱した行為、言語があった場合。

### 第14条 保険

参加者は、ドライバーが900万円以上、チーム監督及びピット要員が400万円以上の有効な保険に加入していることを参加申し込み時に申告しなければならない。加入している保険の金額が上記に満たない場合、加入していない場合は、各大会オーガナ

イザーが定めるレース保険に加入しなければならない。詳細は、各大会の大会特別規則書による。

### 第15条 参加確認受付/受付時間

- 1) 参加確認受付  
場所:大会特別規則書に示す。
- 2) 大会期間中、参加者はすべての規則を遵守する個人的および集会的義務を負う。参加確認受付後は、オーガナイザーの承認がない限り、競技参加車両を決勝レース終了後の車両保管が解除されるまで、サーキット施設内から外部に持ち出すことはできない。

### 第16条 スケジュール

公式予選日・決勝日の全てのスケジュールは大会公式通知で示す。

### 第17条 タイヤ

参加車両の年式によって以下のタイヤの使用が定められる。但し、以下の規定タイヤが入所困難な場合、FIA付則K項「8.タイヤ-4.1及び4.2」に示される規則に合致したタイヤ、又は一般市販タイヤを使用可能。なお、通称Sタイヤを使用できるのは、1972年以降の車両に限られる。

- 1) 1919～1939年
  - ダンロップ・ビンテージ・タイヤ(コンパウンド204)
  - 少なくとも3.5インチ幅のリムが装着されている車両は、一般路用タイヤを装着してレースに参加することが認められる。ただし、そのパターンは75パーセントを下回らないものとし、速度グレードが「S」であること。さらに「DOT」または、「E」刻印が施されていない場合にならない。なおこの条項は「ダンロップ・ビンテージ」タイヤが入手できない場合のみ適用する。
- 2) 1949～1956年
  - ダンロップ・ビンテージ・タイヤ(コンパウンド204)
  - セクションL:2シーター・スポーツカーはレッドパターンR5
  - セクションL:GT/GTS/GTPはレッドパターンCR65
- 3) 1957～1961年
  - ダンロップ・ビンテージ・タイヤ(コンパウンド204)
  - セクションLまたはM:スポーツカーはレッドパターンCR65またはそれ以上
  - セクションL:GT/GTS/GTP
- 4) 1962～1965年
  - ダンロップ・ビンテージ・タイヤ(コンパウンド204)
  - セクションLまたはM:スポーツカー及びGT/GTS/GTPはレッドパターンCR65
- 5) 1966～1971年
  - スポーツカー及びGT/GTS/GTPはダンロップ・ポストヒストリックLまたはM、グッドイヤー・ブルステイク、エイボン。最低70パーセントのレッドパターンを有すること。
- 6) 1972～1981年
  - スリックタイヤ
- 7) 全クラス共通の規定として、ウエットタイヤの使用を許可する。ただし、ドライ用タイヤの幅と直径の規定を満たすこと。

### 第18条 公式車両検査

- 公式車両検査の時間、場所は、大会公式通知で指定される。
- 1) 灯火類は当初の機能を有すること。
  - 2) ガラス製の灯火類は飛散防止措置を施すこと。
  - 3) リアフォグラブの使用は禁止される。
  - 4) 検査時には、次の物を携行もしくは着用すること。(車検が出張で行われる場合は次のものを車検場に持参検査を受けなければならない。)  
・レーシングスーツ、シューズ、グローブ、ヘルメット等の着衣は2009年JAF国内競技車両規則 付則「レース競技に参加するドライバーの装備品に関する付則」に適合したものであること。
- ・公式車検終了後、公式通知にて全車両の車両係数を発表する。

### 第19条 競技運転者の遵守事項

- 1) 国際モータースポーツ競技規則、付則L項第4章「サーキットにおけるドライブ行為の規律」を遵守しなければならない。
- 2) 本規則書に記載されていない各事項については、各主催者発行の共通規定または、大会公式通知される。

## 第20条 ライトオン

天候等により、走行中の視界が不良の場合は、競技長の判断により尾灯の点灯の指示がされる。

## 第21条 公式予選

- 1) 公式予選実施時間は別途、大会公式通知にて公示される。
- 2) 参加確認受付を完了し、公式車両検査に合格したドライバー及び、車両のみが公式予選への参加が認められる。
- 3) 2名のドライバーが登録されている場合、2名とも公式予選に出走する事ができる。
- 4) 登録された車両は、規定の公式予選に必ず出走しなければならない。また、登録されたドライバーのうち少なくとも1名が予選に出場しタイムを記録しなければならない。なお、予選に出場しなかったドライバーに関して、チーム責任者は、その技量、知識について保証すること。
- 5) 公式予選内にタイムアタックを行い、最高ラップタイムが予選結果として記録される。
- 6) 公式予選でラップタイムを記録することができない車両は、大会審査委員会が特に承認する場合を除いて、決勝レース参加にすることはできない。尚、ラップタイムが記録できない車両の参加代表者は、大会事務局にて決勝レース参加に関する申請を行わなければならない。又、決勝レースへの出走が認められた場合、大会審査委員会がグリッドを決定する。

## 第22条 スターティンググリッド

各大会特別規則および公式通知にて示す。

## 第23条 スタート手順

- 1) スタート方式  
スタート方式はローリングスタートとする。  
詳細は各大会特別規則および公式通知にて示す。

## 第24条 ピットイン規定

- 1) すべての参加車両は、決勝レース中1回 1分間のピットストップが義務付けられ、給油以外の作業が行える。尚、1分間のピットストップの計測は各参加者の責任で行なう。又、ピットインを行なう場合は、競技役員に事前に通告しなければならない。このピットを行わなかった場合、レース結果に5分加算の罰則が科せられる。
- 2) 1923～1946年に製造された車両は、ピットストップ時エンジンを停止する必要はない。1947～1981年に製造された車両は、ピットストップ時エンジンを停止する必要はないがチーム監督はピットでの安全確保に心がけること。

## 第25条 セーフティカー

- 1) 競技長の決定により、レースを非競技化するためにセーフティカーが導入される場合がある。
- 2) セーフティカーの使用に関する規定は、FIA国際モータースポーツ競技規則付則H項、第2章、5、「セーフティカー」が準用される。

## 第26条 レースの中断 再スタート

各主催者発行の大会特別規定又は共通規定に従う。

## 第27条 レースの終了

- 1) スタート時間から各大会の特別規則書の定めたチェッカー時間(25分)を経過した周回数が多い暫定1位の車両から、チェッカーフラッグが提示される。チェッカーを受けた車両はコースを1周し、オフィシャルの指示する車両保管場所(パークフェルメ)に向かうこと。
- 2) 車両保管中は競技役員以外、車両に触れることはできない。

## 第28条 順位の認定

- 1) 順位の認定  
ルマンクラシック順位認定方式(計算式)によって行なう。
  - a.順位認定算出方法詳細
    - 1位: 周回数N→タイム=X(走行時間)
    - 2位: 周回数N→タイム=X+a(チェッカー順1位車走行時間+1位との差)
    - 3位: 周回数N→タイム=X+b(チェッカー順1位車走行時間+1位との差:b>a)
    - .....
    - 6位: 周回数N1→タイム=X1(周回遅れ最上位の走行時間)
    - 7位: 周回数N1→タイム=X1+c(周回遅れ最上位とのタイム差を加算)
  - b. 前期a.によって算出されたタイムを基本に
    - チェッカー順1位と同一周回の場合  
走行時間(上記「a」によって算出された各車タイム)×車両係数
    - 周回数がチェッカー順1位車両より少ない場合  
走行時間(上記「a」によって算出された各車タイム)+[(チェッカー1位車両周回

数-自車の周回数)×予選タイム]×車両係数

- c. 公式予選でラップタイムを記録することが出来ず、第21条 5)により決勝レースへの出走が認められた場合の自車予選タイムは、決勝レース中に記録したベストタイムを採用する。尚、公式予選と決勝レースのコースコンディションが著しく異なる場合は大会審査委員会が「自車予選タイム」を決定する。
- d. 順位の認定を受けられる車両は、当該クラス1位の車両が走行した距離の、70%の距離を走破していなければならない。
- e. 何らかの事由でレースが中断された場合、各大会競技規則に基づき運営される。ケースDでレースが再スタートされる場合、先頭車両が完了した周回の1周前の周回時間+第2パートの周回時間と第1パートの周回数+第2パートの周回数を合算した時間と周回数を用いる。

## 第29条 ポイント

ポイントは、各クラス区分ごとに完走したドライバーに対し、下記規定のポイントが与えられる。

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	完走者
10	8	6	5	4	3	2	1

## 第30条 賞典 / シリーズ賞典 / 賞典の制限

- 1) 各大会賞典  
第28条 1)で決定された順位1位から3位の車両に対して賞典が与えられる。  
なお、賞典は各クラスの決勝出走台数により制限される場合がある。
- 2) シリーズ賞典  
《LMC》 戦前、戦後の各区分、シリーズ1位にLe Mans Classic 2010(フランス大会)へのオートマテック エントリー権利の贈呈。  
《OPEN》 戦前、戦後の各区分、シリーズ1位にLe Mans Classic Japan 2011(日本大会)へのオートマテック エントリー権利の贈呈。  
但し、LMCクラス適合車となります。LMC参加条件を満たさない場合は、3位まで次順繰越しされる。該当車両のない場合は、LMCJ事務局が決定する。
- 3) 賞の制限
  - (1) 各大会賞典は各クラスの決勝出走台数によって賞典対象順位を制限する場合がある。また、各クラスの決勝出走台数の半数を超えて与えられることはない。
  - (2) 不可抗力によりレースが中断した場合の取り扱い
    - ① ケースA: 先頭車両が2周回を完了する前にレースが中止された場合、レースは成立せず、シリーズポイントと賞典は与えられない。
    - ② ケースB: 先頭車両が2周回以上を完了し、かつ走行距離がレース距離の75%未満でレースが中止した場合、レースは成立し、シリーズポイントと賞典は与えられる。
    - ③ ケースC: 先頭車両が75%以上を完了した後レースが終了した場合、シリーズポイントと賞典は与えられる。

## 第31条 抗議及び控訴

参加者は、所定の手続きに則って国内競技規則 抗議12-1及び控訴13-2の権利を持つ。

## 第32条 補足 / 遵守事項 / 統一解釈

- 1) 全ての参加者は本競技会に適用される書規則に精通し、これらを遵守すると共に、オーガナイザー及競技役員からの指示に従う義務を負うものとする。
- 2) 本規則書及び本競技会に関する公式通知をはじめとする諸規則の解釈について疑義が生じた場合、参加者は文書による質疑申し立てができる。質疑に関する回答は、大会審査委員会の解釈を持って最終的なものとして関係当事者に口頭で通告される。



# Classic Racing Japan 2009



Regulation Handbook



ルマンクラシック ジャパン事務局

〒259-0157 神奈川県足柄上郡中井町境405 [コックス隣内] TEL. 0465-81-3341 / FAX. 0465-80-1201

